

宮城県仙台第二高等学校 春の医師体験-オンライン-を開催しました！



3月26日(金)に、宮城県仙台第二高等学校の生徒を対象とした春の医師体験を開催しました。例年約30名の生徒が坂総合病院に来て下さり、外来見学や多職種の紹介などを行ってまいりました。今年は新型コロナ感染拡大防止のため、ZOOMによるオンライン上での開催となり、14名の高校生が参加していただきました。

前半はスライドを用いた坂病院の紹介の他、初期研修医や産婦人科医による研修についての動画を見てもらいました。また余命わずかな患者に寄り添う医師を描いた「笑って死ねる病院」という動画も見てもらい、本当の意味で「患者を診る」ということを学びました。



後半は坂病院の花木安羅太医師と熊谷優大医師をお迎えし、質問交流会を行いました。高校生にとって医師と話す機会が減多に無いため、勤務についてや心構えなど様々な質問が寄せられました。最後に困窮事例検討会を行い、実際に起きたコロナ禍における事例をもとに、どのように解決すれば良いのかを自分たちで考えてみました。SDHという単語も初めて聞いたという学生も多く、新たな視点から物事を考えることが出来たという学生が多かったです。

コロナによる影響

- 宮城県医連内事業所で発生したコロナ困窮事例は11件
- 宮城ワンストップコロナ相談に寄せられた事例は12件
- 仙台で行われた学生食糧支援には30名以上が来訪
1/11(火)は31名来訪。留学生もいました。
- 全国のコロナによる失業は7万件以上(厚労省11/25)
製造業・飲食業・小売り業などで増加



参加した学生からは「進路選択に繋がる良い経験だった。」「医師という仕事に対して具体的なイメージを持つことが出来た」という感想が寄せられ、とても充実した時間になりました。

2021年春 病院見学者 感想

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、規模縮小した見学の受け入れになってしまいました。ですが緊急事態宣言前に数名の学生さんが見学に来ていただいたので、感想の一部をご紹介します。

リハビリテーション科

装具には様々なものがあって、患者さんによって新しく買い求めたり、細かく調整していた。病態に応じて導線を変えたりと、沢山の工夫があって興味深かった。

(東北医科薬科大学 2年生)

救急科

ファーストタッチから様々な処置、上級医の先生へのコンサルト等幅広く見学することが出来た。職員同士の関係が良く、些細な事でも報連相が出来ると感じた。

(名古屋大学 5年生)

消化器科

注腸造影とPICCカテーテルの挿入手技を見学をさせていただきました。以前お話させて頂いた研修医の医師が御活躍されてるお姿を見て、坂病院の研修制度が素晴らしいものなんだと感じた。

(山形大学 6年生)

一般内科

1年目の先生も問診から診察、今後の方針まで決まらされていて、1年でここまで出来るのだと驚きました。検査を行う際も、患者さんの希望に合わせて調整したり、合併症の説明を丁寧にされていて、研修医だからこそ出来る気遣いもあると感じました。

(東北医科薬科大学 2年生)

坂坂で読んでみたい記事はございませんか？ 医師やコメディカルに聞いてみたいこと・病院のこと・勉強方法についてなど…ぜひ、こちらまでご意見をお寄せください！ igakusei@miyagi-min.com

次回の坂坂の発行は8月の予定です！

坂総合病院医学生だより
坂坂
MIN-I-REN
坂

<発行>
坂総合病院
医学生と共に歩む委員会
連絡先・塩釜市錦町16-5
☎ 022-367-9007
2021年5月1日
No. 91



坂総合病院HP

「医学生のひろば」より
過去の坂坂がご覧になれます。



2021卒研修医7名の研修スタート！

2021卒研修医の先生方が入職し、研修が始まりました！
それぞれの先生方より、医師を目指した理由、どんな医師になりたいか、医師を目指す皆さんへのメッセージをいただきました！



初期研修ローテーション例

4		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
導入 研修		消化器科 12週			外科 12週			呼吸器科 12週			小児科 8週		循環器科 12週			産婦人科 4週	救急科 8週		精神科 4週	選択科 16週		地域医療 12週		修了証授与	
	通 年 研 修	訪問診療	地域医療研修の一環として看護師と共に訪問診療を担う																						
		当直	ウォークインで来院する患者さんへの診療を担う																						
		救急	救急当番で日中に救急車で搬入された患者さんへの診療を担う																						
		一般外来	ローテート中の3ヶ月、一般外来診療を担う																						

村形祐衣子(山形大学卒)

★医師を目指した理由

理系の女子が一生働いていける分野に進みたいと将来を考えているうちに、医療関係を意識するようになりました。様々な職業の中でも、日本において治療方針を一から決められるのは医師であり、それが1番自分のやりたいことに合っていると感じたので目指しました。

★どんな医師になりたいか

看護師、薬剤師等の他の職種の方や患者さんと、互いの状況を伝え合い、丁寧なコミュニケーションを取れるような医師になりたいです。

★医師を目指す学生にメッセージ

高校の時は散々な成績で何度も志望を確認させられましたが結局受かりましたし、大学に入った後も試験落ちそうと何度も言われましたが、時々追試を受けながらスレスレで何とかなって今に至ります。試験に受ければ同じなので諦めずに頑張りましょう。

伊東泰輝(琉球大学卒)

★医師を目指した理由

自分の家族や周りの人たちを自分で助けられるようになったかったから。事故などの突発的などしようもない死因がある一方で、感染症や癌などの回避できたかもしれない死因で大切な人が亡くなるのをなくしたかったから。小学校二年生の頃からの夢。

★どんな医師になりたいか

上記のように死につながる疾患がある一方で、慢性的なものもある。病院を訪れる患者さんが抱える慢性的な悩みや不安を少しでも軽くできる医師になりたい。また病気で亡くなっていく方々の苦しさを取り除いたり、少しでもよい最期を迎えられるよう寄り添える医師を目指しています。

★医師を目指す学生にメッセージ

一緒に頑張りましょう！
周りが勉強をしているとか、していないとか、そんなことは自分が勉強をする・しないの理由になりません。継続は力なり！

齋藤剛熙(日本大学卒)

★医師を目指した理由

小学校の時に家の鍵を忘れて父の勤め先を訪ねた際、父の担当している患者さん達からもすごい感謝をされました。その時『医師って仕事は凄い…』と子供ながらに感じた事が最初のきっかけです。

★どんな医師になりたいか

どれだけ技術が上がリ、知識が増え、できることが増えたとしても常に謙虚で居続けることができる医師。そして何より患者さんの笑顔のためであればあらゆる手を尽くすことのできる医師。

★医師を目指す学生にメッセージ

大学入試、国家試験、双方で僕が感じた事は『意志を持ち、先をみて勉強している人は強い』ということ。目の前の膨大な勉強量に忙殺されてしまう気持ちは痛いほど分かりますがその中で先を見据えて勉強すると集中力も吸収力も格段に上がります。将来の理想の医師像や生活を描きながら勉強する事をおすすめします。

埴みなみ(岩手医科大学卒)

★医師を目指した理由

理由は何個かありますが…。1番の理由は医師不足・偏在の問題を知り、「医療を受けられなくて困っている患者さんの力になりたい!」と思ったからです。当時の自分は、住んでいる場所が違っただけでその人の生死がわかれてしまう・満足のいく治療が受けられないといった現状に大きな衝撃を受けました。

★どんな医師になりたいか

疾患や治療だけにとらわれず、患者さんと向き合うことができる医師になりたいです。実際の患者さんとお話して、「患者さんはそれぞれの人生歩んできている1人の人間なんだ」と気づかされるのが何度もありました。この心持を忘れず、日々精進していきたいです。

★医師を目指す学生にメッセージ

感謝の気持ちを忘れずに、諦めずに、精一杯頑張ってください！

上原新平(秋田大学卒)

★医師を目指した理由

私は幼少期から祖母と暮らしていましたが、その祖母が私が小学生の時に事故で片腕が不自由になってしまいました。その時に病気の苦勞を沢山見ましたが、同時に医療によって徐々に救われていく姿も見たことで、私も医師になりたいと思いました。

★どんな医師になりたいか

患者さんは病気を治療しに病院に来ると思いますが、疾患をただ治せばいいわけではありません。他にも様々な不安や悩みを抱えていると思いますが、これらを取り除く為には患者さんの生活まで考える必要があります。今回、私は新しい土地で働くことになりすが、少しでも地域の人を理解し、患者さんにも信頼される医師になりたいです。

★医師を目指す学生にメッセージ

医師になるまでの道のりは大変だと思いますが、自分を信じて頑張ってください。

松井太瑠日(滋賀医科大学卒)

★医師を目指した理由

私が医師を目指した理由は、母の病気にあります。私が小学生の折に母が脳腫瘍を患い倒れました。そのとき執刀をして下さった脳神経外科の先生の姿に感銘を受けて医師を志すようになりました。

★どんな医師になりたいか

患者さんは様々な事情を抱えています。その一つ一つの事情に共感し、寄り添うことのできる医師を目指したいです。

★医師を目指す学生にメッセージ

私は受験浪人、国試浪人を経験して今に至ります。私にとって試験勉強は辛く苦しい時間でしたが、その時間を支えてくれたのは周囲の友人たちと、上記に挙げた動機でした。勉強を進める中で、継続できなくなるようなときがあるかもしれません。そんなとき、まず動機を見つめ直してみてください。どうして医師になりたいのか、どんな医師になりたいのか、皆さん一人一人の中に様々な動機があると思います。その動機を大事にして、勉強に臨んで下さい。将来、仕事を一緒にさせて頂けたら幸いです。

木村聡一郎(北海道大学卒)

★医師を目指した理由

私は親が医師ということもあり、小さい頃からいつのまにか医師を目指していました。そのため、大きなきっかけは正直無いのですが、自分の将来について考え始めた時に医師という職業の素晴らしさを再確認し、医師になりたいと思うようになりました。

★どんな医師になりたいか

常に患者さんの立場から考え、寄り添っている医師になりたいです。

★医師を目指す学生にメッセージ

医師になるまで様々な大変なことがあると思います。ただ失敗したことや挫折経験はきつと後々生きてくるので、焦らず、自分の目標に向かって頑張ってください！



1 年目研修医の導入研修の様子を紹介します！



1 年目研修医が入職すると、病棟配属の前に約 2 週間の導入研修を行います。
2 年目を共に過ごす同期同士のつながりを強める特別な期間。指導医や先輩からは、病棟配属後に必要な基礎的知識や手技とともに、コンサルトのノウハウなどを学び、コメディカルからはチーム医療の大切さとそれぞれの役割を学びます。

◆20 卒ワークショップ

2 年目医師によるローテート科での業務内容や、何をすべきか勉強などを含めたアドバイスを
行いました。



◆グループワーク

初期研修 2 年間でどのような医師になりたいのか、皆で話し合いました。導入研修もある程度経過した時期に行ったので、研修医同士も打ち解けて、和気あいあいとした雰囲気の中で行われました。



◆シミュレーター指導

胸腔穿刺と腰椎穿刺、中心静脈穿刺のシミュレーターを用いた指導を先輩医師や指導医が行いました。実際に行うときのコツや注意点などを丁寧に教えてもらい、1 年目研修医もとても満足
だったようです。

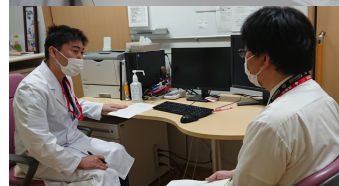
◆心電図読影

循環器科の先生による心電図読影です。研修医が読影したものを一つ一つ確認して気を付けるポイントなどを学びました。



◆電子カルテ講義

2 年目医師による電子カルテの使い方の講義を行いました。多種多様な機能があり、2 年目
医師が丁寧に教えている姿はとても頼もしく、1 年目医師も一生懸命メモをとりながら聴い
ていました。



◆医療面接

模擬患者さんの前で診察を行い、話す時の姿勢や声のトーン、説明の内容などについてフィ
ードバックを受けていました。緊張した様子でしたが、事前に講義を受けた患者さん目線の
診察で話すようにしようという心掛けが伝わってきました。

◆採血実習

採血の注意点などシミュレーターを使い、看護師の方々に教えてもらいました。何回か練習し
て実際に研修医同士で実践しましたが、緊張している様子が伝わってきました。



◆研修プログラム&接遇講義

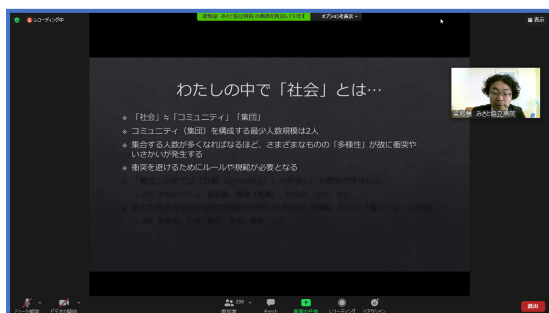
坂の研修プログラム、研修修了要件の説明、社会人としての接遇マナーについて学びました。笑顔の練
習では 1 年目研修医もみなニコニコとしており楽しそうな様子が伝わってきました。

第41回医学生のつどい inオンラインを開催しました！

3月27日～28日の2日に亘り、医学生のつどい in オンラインが開催されました。
新型コロナウイルスの影響で現地開催が難しく、前回から約1年の期間が空いてしまいましたが、オンラインということもあり学生・職員合わせ約400名の参加となりました。

毎回テーマが決まっていますが、今年は
「医学生が本気で考える社会づくり」と題し、
様々な学習企画や交流企画が行われました。

その中でも学習企画は、千葉大学予防セン
ターの近藤克則先生、みさと協立病院の梁取
慧先生、全日本民医連副会長の大島民旗先生
からご講演いただきました。



今の社会問題とは何なのか、医師として求められているニーズとは何か、医学生のうちにどんなことが出来るか。難しい内容ではありましたが、助言者として参加いただいた医師から実体験を話してもらいつつ、グループ内で様々な意見を共有し合うことが出来ました。

今の世界情勢だからこそこのように話し合える場を大切だなと感じます。不安なことだらけな世の中ですが、皆で協力し合ってより良い社会を目指しましょう！

医学生のつどいとは？

年に数回全国の医学生が集まり、医療観や社会情勢について学びを深め合う企画です。開催地やテーマは毎回異なり、直近では長野県や滋賀県で、貧困や差別問題について学習しました。

お

